

【国際総合科学研究科再編の概要】

都市社会文化研究科 【入学定員】 博士前期：20名、博士後期：3名

(1) 教育研究の内容

都市社会を構成する人々についての深い理解を獲得するために、文化、思想、宗教、民族等にかかわる人文科学を基盤として学び、人文科学の視点より現実の都市問題に実践的に取り組む、他大学では類を見ない横浜発の応用人文科学を創造します。

(2) 育成する人材

大都市における地域ガバナンスの形成に取り組む人材、多文化共生社会の形成を支援するNPOスタッフ、環境文化都市の創造を目指す企業人、国際的な都市間協力ネットワークを支える人材などを育成します。

生命ナノシステム科学研究科 【入学定員】 博士前期：100名、博士後期：40名

(1) 教育研究の内容

創薬・医療や食糧・生物環境など人類社会が永続的に発展するために必要な諸問題に合理的な解決策を見出すべく、物理・化学・生物学領域の融合をさらに進め、「生命の持つ複雑な機能・組織を物質要素の組み合わせ（システム化）により発現すると考え、ボトムアップの立場から生命システムを解明する」という新しいアプローチによる教育研究を行います。

(2) 各専攻の概要

○ナノシステム科学専攻（八景キャンパス）〔博士前期：30名、博士後期：10名〕

計測・情報科学に基づき、電子・原子・分子レベルからの生命システム構築の理解を目指します。

○生体超分子システム科学専攻（鶴見キャンパス）〔博士前期：40名、博士後期：20名〕

構造生物学に基づき、原子レベルからの生体超分子システム構築の理解を目指します。

○ゲノムシステム科学専攻（八景・舞岡キャンパス）〔博士前期：30名、博士後期：10名〕

ゲノム科学に基づき、遺伝子・タンパク質レベルからの細胞システム構築の理解を目指します。

(3) 育成する人材

次世代の薬品設計開発、食品開発、環境問題解決に寄与する環境保全生物開発、環境改善物質開発、情報・エネルギーに関連する有機デバイス開発などの人材などを育成します。

(4) 生命科学分野の再編について

生命科学分野再編の第一段階として、国際総合科学研究科の理系分野を生命科学の視点から「生命ナノシステム科学研究科」に再編し、その後、先端医科学研究センターの機能強化に併せ、医学研究科等との再編を進めます。

国際マネジメント研究科 【入学定員】 博士前期：20名、博士後期：3名

(1) 教育研究の内容

グローバル化に伴う国際市場環境の変化、および少子高齢化による国内市場の縮小と労働力人口の減少といった現代の企業が直面する喫緊の課題に対し、企業のアジアを中心とした海外戦略について教育研究を行います。

(2) 育成する人材

企業の競争力強化や海外展開を支援する C00（最高執行責任者）、CF0（最高財務責任者）および C10（最高情報責任者）、国際財務部門または海外展開部門のスタッフ、日本貿易振興機構（JETRO）などの政府系機関およびコンサルティング会社等のシニアスタッフとなる人材などを育成します。